

JELLY BEANS Group

イベント機材レンタル事業 「JB RENTAL」を開始

競技用コートから物流補助まで、大会・イベントに必要な機材をワンストップで提供

2026.08

株式会社ジェリービーンズグループ

大会を「丸ごと」持ち込める ワンストップ・レンタル事業

コート・観客席・LED・音響・テント・VIP設備までを当社グループが自ら保有し、企画から搬入・設営・引取までを一括で提供します。従来3～5社に分散していた主催者の機材調達を、単一の窓口に集約します。



保有して貸す

競技用コート、移動式ゴール、観客席足場、LEDビジョン等の大型機材をグループで保有。外部調達に依存せず、稼働と品質を自社で管理します。

1



グループで運ぶ

倉庫保管・在庫管理・配送・搬入・引取を、連結子会社である株式会社JBロジスティクスが一貫して担います。

2



オンラインで完結

Webカタログでの機材選定から見積依頼・申込・請求までを自社サイト jb-rental.jp 上で完結。個体単位で在庫を管理します。

3

3x3スペシャリスト × ワンストップ × 自社保有

総合レンタル大手にも競技特化サプライヤーにもない組み合わせを、当社グループの独自ポジションとする

本資料の構成



1

当社グループと本事業の位置づけ

会社概要、3事業領域における本事業の位置づけ、グループ内シナジー



2

事業の内容

参入の背景、提供価値、取扱カテゴリー、事業モデル、保有アセット



3

市場と競争環境

対象市場の規模感、競合構造とポジショニング、デジタル基盤、運用品質基準



4

今後の展開

ロードマップ、認識するリスクと対応方針、今後の見通し

会社概要

商号	株式会社ジェリービーンズグループ
市場	東京証券取引所 グロース市場（証券コード 3070）
代表者	代表取締役社長 宮崎 明
本社	東京都中央区勝どき3-13-1 フォアフロントタワーII 8階
創業	1974年4月／設立 1976年6月
決算期	1月期（2月1日～翌年1月31日）

4,529	13	55
百万円	社	名
資本金	連結子会社	連結従業員

— ライフスタイル事業

婦人靴「JELLY BEANS」を源流に、食品、スポーツ用品、化粧品、美容医療、物流・倉庫業を国内外で展開

— サステナブル事業

系統用蓄電池、ウォーターサーバー、再生重油、廃棄物の再資源化によるエネルギー循環

— エンターテインメント事業

芸能タレントの育成・マネジメント、ブロックチェーン／web3 関連事業

— ミッション

暮らしを通じて、すべての人に「自分らしさ」を。

グループ内にすでにある「スポーツ」と「物流」

本事業は、当社グループが既に有するスポーツ領域の顧客接点と、連結子会社の物流機能を結び直すことで立ち上がります。単独の新規参入ではなく、既存アセットの再編による事業化です。

LOGISTICS

株式会社
JBロジスティクス

貨物利用運送業・倉庫業を営む連結子会社（議決権比率100%）。本事業の倉庫保管・在庫管理・配送・搬入・引取を担います。

SPORTS TEAM

株式会社
サンライズ

プロバスケットボール「Bリーグ」参入を目指すチーム運営会社。バスケットボール興行の現場知見をグループ内に有しています。

SPORTING GOODS

株式会社
361 Sports Japan

スポーツ用品の輸入販売。スポーツ関連の取引先ネットワークと商品調達の経験を蓄積しています。

ENTERTAINMENT

株式会社
JBエンターテインメント

タレントマネジメント・イベント興行。屋外コンサート／フェス領域における主催者との接点を有しています。

既存アセットの再編

スポーツ興行の現場知見（サンライズ）と、倉庫・配送機能（JBロジスティクス）を、当社が保有する機材でつなぐことで、グループ外への発注を伴わずに事業を運営できる構造としています。

なぜ、いま参入するのか

MARKET — 市場環境

3x3バスケットボールの競技基盤の拡大

オリンピック種目化以降、国際公認大会から地域オープン大会まで階層的に開催が広がり、大会ごとに「競技設営一式」の需要が生じています。

屋外イベント／小規模フェスの分散化

大規模集約型から、地域単位の中小規模イベントへ需要が分散。1件あたりの規模は小さく、件数が多いという構造に変化しています。

自治体・教育機関のイベント需要

地域スポーツ振興・市民イベントの開催主体が多様化し、機材を持たない主催者が増加しています。

PAIN — 主催者が抱える課題

調達先が3～5社に分散する

コート、テント、音響、LED、観客席をそれぞれ別業者に発注する必要があり、見積・搬入時間・責任範囲の調整コストが主催者に集中します。

競技規格を満たす機材の入手性

競技用コート、公式規格のゴール、コートサイドLEDなど、大会の世界観を成立させる機材を扱う事業者が限られています。

見積・空き状況が不透明

電話・FAX中心の商習慣が残り、企画段階で概算と手配可否を素早く確認できないことが、主催者側の意思決定を遅らせています。

当社の解 分散した調達を1社に集約し、機材を自社で保有することで手配可否を即答できる体制をつくる。これを Web 上で完結させることが、本事業の設計思想です。

JB RENTAL が提供する4つの価値

大会・イベントに必要なすべての備品を、必要な時に必要な場所へ。
主催者の「コートから観客席・音響・LED・VIP対応まで」をワンストップで実現する。



ONE-STOP

ワンストップ

コート、観客席、音響、LED、テント、サイン、VIP設備までを一括で手配。主催者の窓口を1社に集約します。



3X3 SPECIALIST

3x3スペシャリスト

競技用コート・ゴール、選手入場口（トラス）、コートサイドLED等、3x3大会の世界観を再現できる機材を揃えています。



OWNED & OPERATED

自社保有・自社運用

主要機材をグループで保有し、倉庫・配送も内製。外部調達に伴う可否確認の待ち時間と中間コストを排除します。



DIGITAL FIRST

デジタル完結

Webカタログでの機材選定から見積依頼・申込・請求書発行までをオンラインで完結させます。

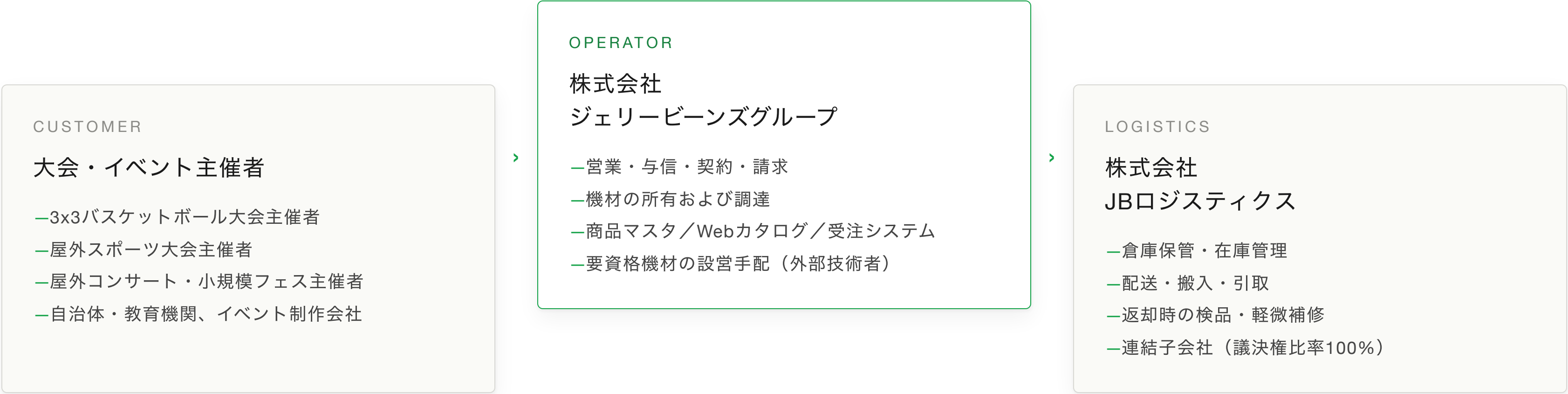
ブランドメッセージ — 「コートからLEDまで、大会丸ごと持ち込める。」

取扱カテゴリー

大会・イベントの設営に必要な機材を12カテゴリーで体系化しています。◎は本事業の重点カテゴリーです。

スポーツ競技◎ スポーツコート、移動式バスケットゴール、選手入場口（トラス材）	テント・シェード◎ 集会用テント（白／黒）、三方幕・一方幕、テント用ウェイト	観客・VIP設備◎ 観客席足場、イレクターフェンス、VIPテーブル／チェア、コンテナハウス	映像・LED◎ LEDビジョン、コートサイドLED、昇降機、イントレ（カメラ台）
音響◎ マイクセット、スピーカー、パワーアンプ、ライブ用音響一式	構造材◎ トラス式屋根、選手入場口、観客席足場材	看板・サイン○ 立て看板、A型看板、ロールアップバナー、ストリームフラッグ	テーブル・椅子○ 会議用テーブル、パイプ椅子、観客用折りたたみチェア
電装・冷却○ 延長コード、スポットクーラー、扇風機、コート照明	安全・運営○ 担架、AED、消火器、サイレン付きメガホン	下地・養生○ ゴムマット、ブルーシート、防災シート、暗幕、コート床足場材	物流補助内部 カゴ台車等（社内運搬用・原則貸出対象外）

事業モデルと役割分担



商 流	顧客と当社が直接契約。紹介パートナー経由の引合についても、契約主体は当社とします。
物 流	JBロジスティクス倉庫と開催現場の間を、保管・配送・搬入・引取まで一貫して同社が担います。
金 流	顧客から当社へレンタル料・配送料・設営料・オプション料を収受します。

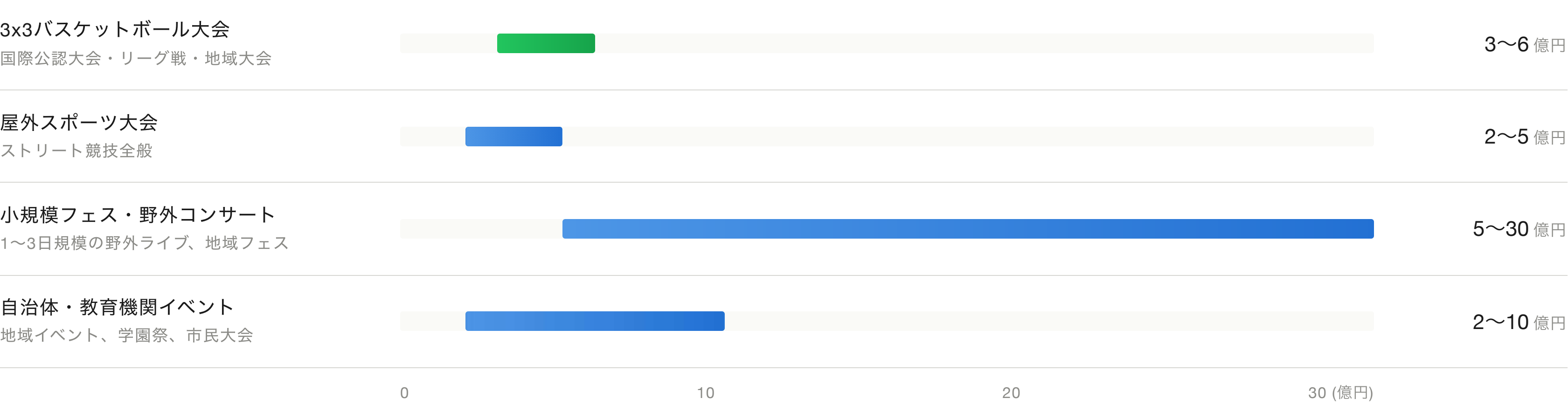
保有する主要機材

本事業の中核となる機材はすでに取得済みで、当社が保有しています。大型・高額機材を自ら保有していること自体を、参入障壁および競争優位と位置づけています。

18_{m × 14m} スポーツコート 3x3公式規格に対応する専用フロアマット一式	51_枚 LEDビジョン コートサイドビジョン42枚＋メインビジョン9枚、昇降機2基	300_名 観客席足場 屋外大会向け仮設スタンド（送料込みパッケージ）
32_張 集会用テント 2間3間・2間4間、白／黒天幕。ウェイト192個を併せて保有	500_脚 観客用チェア 会議用テーブル75台、VIPチェア・テーブルを併せて保有	10_年 想定耐用年数 コート、ゴール、LED、トラス等の高額機材。メーカー保守を併用

対象市場の規模感

本事業が対象とする4セグメントの年間レンタル市場を、公開資料をもとに当社で試算したものです。



出典：日本バスケットボール協会および国際バスケットボール連盟の公開資料、各業界統計を参考に当社が試算（試算日 2026年5月14日）。実数は今後の市場調査により更新する予定です。市場規模は各セグメントの年間開催件数の想定値に平均レンタル単価を乗じたレンジであり、当社の売上を示すものではありません。

競争環境とポジショニング

既存プレイヤーは、網羅性で優る総合レンタル大手、競技専門性で優る競技特化サプライヤー、単一カテゴリーに強いカテゴリー専門の3群に整理されます。

評価軸	総合レンタル大手	競技特化サプライヤー	カテゴリー専門	JB RENTAL
3x3競技への専門性	△	◎	×	◎
ワンストップ性	◎	×	×	◎
大会カレンダー連動の需要計画	×	×	×	◎
専属枠・年間契約	△	×	×	◎
全国カバレッジ	◎	△	△	○
価格レンジ	中～高	パッケージ（中）	個別見積	中

当社の勝ち筋は、①大会カレンダーと連動した需要計画、②専属枠・年間契約による稼働の事前確保、③「大会を丸ごと持ち込める」という提供形態の3点にあると認識しています。

注：競合各社の評価は公開情報にもとづく当社の主観的評価であり、特定企業の優劣を示すものではありません。

サービスサイト jb-rental.jp

主催者が最初に触れる面です。利用シーンから機材にたどり着き、その場で見積もりリストに追加できる導線を、当社サイト上に構築しています。

シーンから探す

野外フェス、音楽ライブ、バスケットボール大会、サッカー・フットサル大会、企業イベント、展示会・見本市、記者発表会、地域夏祭り、マラソン大会。主催者が自分の用途から入れる導線を最上部に置いています。

カテゴリから探す

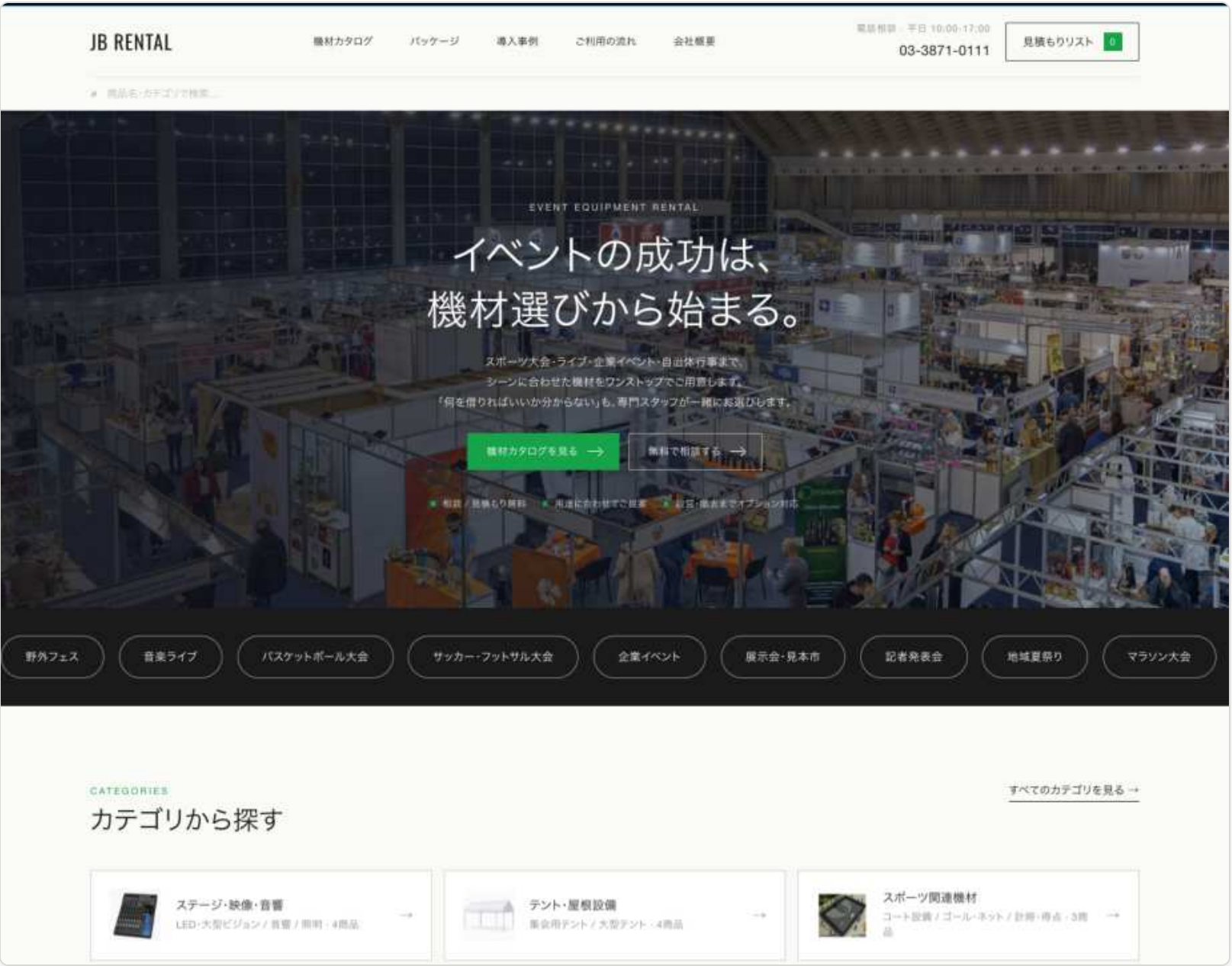
ステージ・映像・音響、テント・屋根設備、スポーツ関連機材、会場運営・観客設備などの機材カテゴリーを、掲載点数とともに一覧できます。

シーン別パッケージ

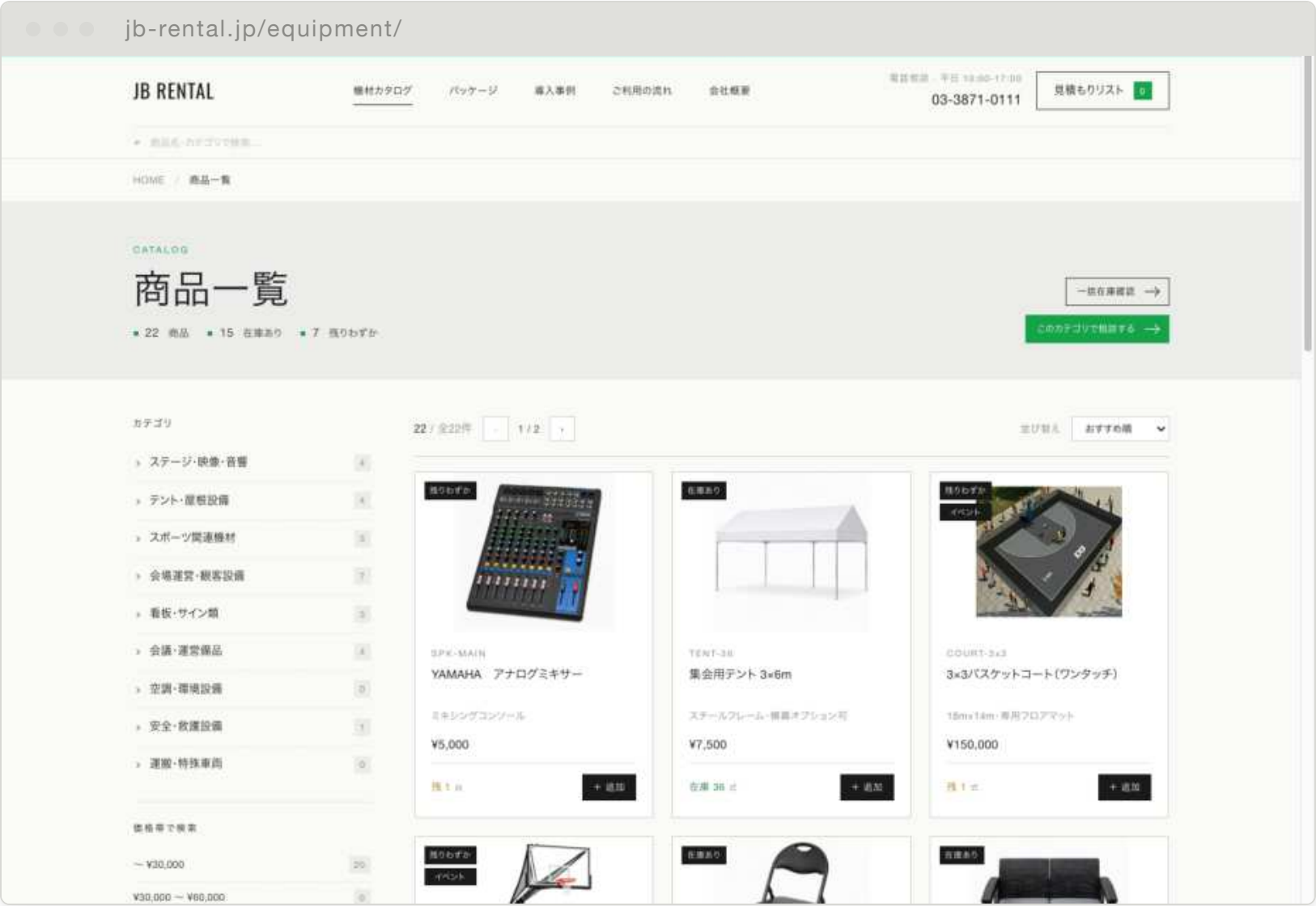
「何を選んだらいいかわからない」主催者に向けて、定番構成をセット価格とともに提示します。構成・数量に応じた変動幅も併記しています。

相談・見積もりは無料

Webからの見積依頼に加え、平日10時から17時の電話相談窓口を設けています。設営・撤去はオプションとして選択できます。



受注基盤はすでに稼働している



機材カタログ画面。カテゴリー・価格帯・タグでの絞り込み、在庫数と「残りわずか」表示、見積リストへの追加までを顧客自身が操作できます。

- Webカタログから見積依頼・申込までをオンラインで完結。電話・FAXを前提としない受注導線を整備しています。
- 在庫はSKU単位と個体（シリアル）単位の二層で管理し、個体ごとに状態・累計稼働日数・補修履歴・所在拠点を保持します。
- 見積書は採番のうえ請求書へ変換でき、適格請求書等保存方式に対応した様式で発行します。
- 倉庫管理システム向けの出荷データ連携に対応し、倉庫側の作業指示までをデータで受け渡します。
- 契約前審査のリードタイムを確保するため、予約可能日を申込日から一定期間後に制限する制御をシステム側に実装しています。

2層 INVENTORY MODEL	123件 REGRESSION TESTS
-----------------------	--------------------------

回帰テストは2026年8月2日時点で123件を実行し、全件が合格しています。同日、管理画面まわりの変更を対象に当社内でコードレビューを実施し、重大度Criticalの指摘はなく、Important 2件・Minor 3件はいずれも同日中に修正済みです。

運用品質基準

主催者の企画意思決定を止めないことを重視し、応答速度と機材の稼働可能性について社内基準を定めています。

項目	区分	基準値	目的
見積回答	標準品	24時間以内	主催者の企画段階での比較検討を止めない
見積回答	要見積品	3営業日以内	大型・要資格機材の設営可否を早期に確定する
配送リードタイム	標準品・関東圏	3営業日	直前の追加発注に対応する
配送リードタイム	標準品・関東圏外	5営業日	全国の大会開催に対応する
配送リードタイム	大型品	7～10営業日	別便手配・設営工程を含めて調整する
機材稼働可能率	全在庫	95%以上	受注機会の損失を防ぐ
破損率	案件あたり	5%未満	補修コストと再調達費用を抑制する

本基準は事業計画策定時点の社内想定であり、本格ローンチ後の運用実績を踏まえて見直す予定です。返却時の検品では稼働可能／要補修／廃棄予定を判定し、補修費が再調達費用の50%を超える機材は廃棄する方針としています。

事業化のロードマップ



事業計画の策定（Phase 0）と、受注システム・倉庫体制の構築（Phase 1）は完了しています。本開示をもって本格ローンチ（Phase 2）を開始し、以後は月次モニタリングと導入事例の公開を進めます。次フェーズへの移行は、取扱カテゴリーの追加投入と対応エリアの拡大の見通しが立つことを前提としています。

認識するリスクと対応方針

	影響：中	影響：中～大	影響：大
確率：高	—	繁忙期の需要集中	競合の競技領域への参入
確率：中	倉庫キャパシティ 要資格技術者の確保	—	高額機材の稼働率未達
確率：低	与信不良・回収遅延 法令・条例対応	配送事故	機材の破損・紛失 システム障害

優先対応 01 — 需要の集中

- 大会カレンダーにもとづく需要予測と、繁忙期の事前枠確保
- 年間契約・専属枠オプションの提案による稼働の平準化

優先対応 02 — 競合の参入

- 競技団体の公式サプライヤー認定の取得検討による参入障壁の構築
- 主要主催者との年間稼働の早期合意

このほか、機材の破損・紛失に対しては補償オプションの必須化と個体単位の管理を、システム障害に対しては保守契約と日次バックアップを、それぞれ対応策として設定しています。

将来予測に関する注意事項

今後の見通し

本事業が当社の2027年1月期の連結業績に与える影響は軽微であります。

将来予測に関する注意事項

本資料に記載されている当社グループの計画、戦略、市場の見通し、その他の歴史的事実でない記述は、本資料の作成時点において当社が入手可能な情報にもとづく将来の見通しであり、既知および未知のリスクや不確実性、その他の要因を含んでおります。実際の業績等は、これら将来見通しに関する記述とは大きく異なる結果となる可能性があります。当社は、新たな情報の取得、将来の事象の発生その他にかかわらず、本資料に記載された将来見通しに関する記述を更新または改訂する義務を負うものではありません。

出典・商標に関する注記

本資料に記載の市場規模は、公開資料をもとに当社が試算した参考値であり、第三者による検証を経たものではありません。ロードマップおよび運用品質基準は事業計画策定時点の社内想定であり、今後の運用実績を踏まえて見直す場合があります。本資料に記載された会社名、製品名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社株式の取得または売却の勧誘を目的とするものではありません。

CONTACT

本件に関するお問い合わせ

株式会社ジェリービーンズグループ IR広報室

今後の進捗および続報は、適時開示ならびにコーポレートサイトの「IR・ニュース」よりご確認ください。

JELLY BEANS Group

株式会社ジェリービーンズグループ（東証グロース・証券コード 3070）

<https://www.jelly-beans-group.co.jp/>